

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名 小倉クラッチ株式会社
 コード番号 6408 URL <http://www.oguraclutch.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 小倉 康宏
 (氏名) 河内 正美

TEL 0277-54-7101

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	9,438	△3.9	73	△67.0	186	△34.6	123	△39.6
24年3月期第1四半期	9,816	3.8	223	△32.4	284	172.2	204	85.7

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 454百万円 (23.5%) 24年3月期第1四半期 367百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	8.25	—
24年3月期第1四半期	13.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	37,394	12,609	33.2	827.14
24年3月期	37,116	12,275	32.6	806.69

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 12,401百万円 24年3月期 12,094百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 ・平成25年3月期(予想)配当金は、現時点では未定とさせていただきます。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,660	△4.6	360	△37.8	360	△31.8	260	△28.8	17.34
通期	37,460	△1.9	870	25.5	800	70.4	640	146.5	42.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	15,533,232 株	24年3月期	15,533,232 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	540,096 株	24年3月期	540,096 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	14,993,136 株	24年3月期1Q	14,995,181 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国の個人消費や住宅投資に持ち直しの兆候が見られますが、欧州債務危機の拡大からユーロ圏の景気が失速し、中国など新興国の景気にも波及するなど、減速感を強めてまいりました。一方、日本経済においては、東日本大震災からの復興需要、エコカー補助金の再開などに支えられ、緩やかに回復してまいりましたが、米ドルやユーロに対する円高の長期化、原子力発電所問題による電力供給不安も加わり、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもとで、当社グループはグローバル市場で積極的な販売活動を行ってまいりましたが、当第1四半期連結累計期間における売上高は、為替の影響による目減り等もあり、9,438百万円と前年同期と比べ378百万円の減少（前年同期比3.9%減）となりました。このため、営業利益は73百万円と前年同期と比べ149百万円の減少（前年同期比67.0%減）、経常利益は186百万円と前年同期と比べ98百万円の減少（前年同期比34.6%減）、四半期純利益は123百万円と前年同期と比べ81百万円の減少（前年同期比39.6%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①輸送機器用事業

国内においては、前期の東日本大震災の影響のような突発要因による需要の落ち込みはなく、ほぼ計画通りの販売を行うことができました。しかし、海外においては、ユーロ圏の金融不安による景気悪化・円の高止まりを受け、欧州・北米での収益は苦戦を強いられました。

その結果、売上高は7,020百万円と前年同期と比べ364百万円の減少（前年同期比4.9%減）となり、セグメント利益は91百万円と前年同期と比べ64百万円の減少（前年同期比41.4%減）となりました。

②一般産業用事業

金属・工作、印刷・製本業界向けの販売は、中国、ヨーロッパの景気減速の影響から前期比減少となりましたが、震災の影響により前期大幅減産であった車輛業界向けの販売が回復したこと、変・減速機、昇降・運搬業界向けが好調を維持したこと等から一般産業用事業の売上は前年同期と比べ微増となりました。利益面につきましては、機種構成の変化等から前年同期と比べ減益となりました。その結果、売上高は1,984百万円と前年同期と比べ7百万円の増加（前年同期比0.4%増）となり、セグメント利益は1百万円と前年同期と比べ71百万円の減少（前年同期比98.3%減）となりました。

③その他

その他では、売上高が433百万円と前年同期と比べ22百万円の減少（前年同期比4.9%減）となりました。セグメント利益は17百万円と前年同期と比べ6百万円の減少（前年同期比26.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

流動資産は主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金等の増加により26,402百万円（前期末比119百万円増）となりました。固定資産は主に、有形固定資産の増加、保有株式の時価下落による投資有価証券の減少等により10,992百万円（前期末比159百万円増）となりました。その結果、総資産は37,394百万円（前期末比278百万円増）となりました。

(負債の部)

流動負債は主に、仕入債務、賞与引当金は減少しましたが、短期借入金、その他に含まれる未払費用の増加等により20,043百万円（前期末比260百万円増）となりました。固定負債は主に、長期借入金の約定弁済に伴う減少等により4,741百万円（前期末比316百万円減）となりました。その結果、負債合計は24,784百万円（前期末比55百万円減）となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、当期純利益、保有株式の時価下落によるその他有価証券評価差額金の減少、為替換算の影響により12,609百万円（前期末比334百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点では、平成24年5月14日に公表いたしました平成25年3月期業績予想に変更ありません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合は、適時に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,286	6,337
受取手形及び売掛金	12,201	12,274
有価証券	76	76
商品及び製品	2,770	2,741
仕掛品	2,570	2,514
原材料及び貯蔵品	1,630	1,662
繰延税金資産	152	157
その他	751	798
貸倒引当金	△157	△159
流動資産合計	26,283	26,402
固定資産		
有形固定資産	8,928	9,166
無形固定資産		
その他	148	145
無形固定資産合計	148	145
投資その他の資産	1,755	1,680
固定資産合計	10,832	10,992
資産合計	37,116	37,394
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,080	9,911
短期借入金	8,446	8,625
未払法人税等	53	70
賞与引当金	236	90
その他	966	1,344
流動負債合計	19,782	20,043
固定負債		
長期借入金	3,726	3,470
繰延税金負債	225	178
役員退職慰労引当金	395	405
退職給付引当金	182	174
関係会社整理損失引当金	163	160
資産除去債務	23	23
その他	340	327
固定負債合計	5,057	4,741
負債合計	24,840	24,784

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858	1,858
資本剰余金	1,844	1,844
利益剰余金	10,754	10,758
自己株式	△342	△342
株主資本合計	14,115	14,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	174	104
為替換算調整勘定	△2,195	△1,822
その他の包括利益累計額合計	△2,020	△1,718
少数株主持分	180	208
純資産合計	12,275	12,609
負債純資産合計	37,116	37,394

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	9,816	9,438
売上原価	8,513	8,345
売上総利益	1,303	1,092
販売費及び一般管理費	1,079	1,018
営業利益	223	73
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	18	16
為替差益	68	130
その他	40	37
営業外収益合計	131	187
営業外費用		
支払利息	49	47
手形売却損	3	3
持分法による投資損失	1	1
租税公課	10	16
その他	5	6
営業外費用合計	70	75
経常利益	284	186
特別利益		
投資有価証券売却益	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
固定資産除却損	0	—
固定資産売却損	—	0
投資有価証券評価損	0	6
特別損失合計	0	6
税金等調整前四半期純利益	287	179
法人税、住民税及び事業税	50	68
法人税等調整額	16	△15
法人税等合計	67	53
少数株主損益調整前四半期純利益	220	126
少数株主利益	15	2
四半期純利益	204	123

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	220	126
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△40	△70
為替換算調整勘定	184	388
持分法適用会社に対する持分相当額	4	10
その他の包括利益合計	147	328
四半期包括利益	367	454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	348	426
少数株主に係る四半期包括利益	19	27

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,384	1,976	9,361	455	9,816
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,226	648	6,875	0	6,875
計	13,611	2,625	16,236	455	16,691
セグメント利益	155	72	228	24	252

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業および一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	228
「その他」の区分の利益	24
内部取引消去	△15
棚卸資産の調整	△16
減価償却費の調整	3
全社費用(注)	0
四半期連結損益計算書の営業利益	223

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,020	1,984	9,004	433	9,438
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,905	932	6,837	0	6,838
計	12,925	2,917	15,842	433	16,276
セグメント利益	91	1	92	17	110

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業および一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	92
「その他」の区分の利益	17
内部取引消去	0
棚卸資産の調整	△43
減価償却費の調整	3
全社費用(注)	3
四半期連結損益計算書の営業利益	73

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。